

ニュース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
☎101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

専修大学ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

- 【新学部長に聞く】経済・経営・文・人間科学・国際コミュニケーション……………②③
- 異文化コミュニケーション学科留学レポート……………④
- 大学院に日本語プロフェッショナルコース／専大カレッジ サンダースJBCが初優勝……………⑤
- 石巻専修大学 情報マネジメント学科集中講義……………⑦

おことわり
マスク未着用の写真は撮影時のみ外しています

大雨等自然災害で被災された皆様へ

被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対して、安心して学業が継続できるように支援を行っております。下記の担当窓口にご相談ください。

生田学生生活課	☎044-911-1267
神田学生生活課	☎03-32665-6824
二部事務課	☎03-32665-8359
生田大学院事務課	☎044-911-1271
神田大学院事務課	☎03-32665-6568
法科大学院事務課	☎03-32665-6891
石巻専修大学事務課	☎0225-22-7712

課題解決へ果敢にチャレンジ

3期目 佐々木重人学長に聞く

佐々木重人学長が専修大学学長に再任され、9月1日から3期目に入った。未来に向けてのビジョンや教育改革について伺った。

—学長2期目(2019年9月〜22年8月)はコロナ禍、専修大学創立140周年(20年)と、さまざまな出来事がありました。
—新型コロナウイルス感染症対策が中心の3年間となりました。未経験のオンライン授業、学内の感染症対策など、教職員、法人とが意見を出し合い、実行し、改善する、まさにPDCAサイクルを回しながら対応していきました。その中で、コロナ以前では不可能だと思われていたことも、できるのではないかとこの改革の芽をイメージするようになりました。3期目では、やり残したことを、新たにやらなければならないと思いついたことを推進していく所存です。

—具体的なビジョンをお聞かせください。
—2期目にかけて行われた教育組織改革、二部の募集停止、神田10号館の完成などは、創立140周年の主たる事業となりました。3期目のビジョンとしては、まずは、これらの一連の取り組みがしっかりと機能しているか検証し、積極的に補強していき

ます。そして、構想はたくさんありますが、新たな教育サービスの創造と、キャンパスDX(デジタルトランスフォーメーション)構想について特に力を入れていきたいと考えています。
—まず、新たな教育サービスについてです。二部の募集停止に伴い、来年度以降ゆとりが見込まれる人材や授業時間の枠をどのように活用するか。インターネットを活用したインターナショナル教育プログラムの創設、SDGsを見える化する科目の新設、実務家教員の積極的登用など、いくつかアイデアがあります。

—先ほど出された「S-U」Intelligence Universityであり、私は「S-U」という表現でお話しています。専修大学は「社会知性開発大学」として歩んでおり、次なる創立150周年に向けても、社会知性の開発をどのようにに表現していくかが問われるでしょう。さまざまな物的リソースを総動員しながら、課題解決に向けて果敢にチャレンジしていくことが重要です。

—「迷ったらGO」というのが私のモットーです。専修大学として、「これをやるべきだ」ということがあればひるまずチャレンジしていきます。30年の150周年に向けて、こ



「150周年に向けた種を蒔いていく」と話す佐々木学長

新教育サービス創造とキャンパスDX構想を推進

—学生に向けてのメッセージをお願いします。
—今の学生は、大学生活の大部分が、コロナ禍で制限を受けています。我々教職員も、校友会、育友会もさまざまな支援を行ってきました。そして、学生も、例えばオンライン授業の改善のためのアンケートなど、たくさんのご協力をしてくれました。それ

—でもやはり、イメージとだいぶ違う大学生活になってしまっていることが、私たちが支えてくれて、本当にありがと伝えてほしい。また、校友会も育友会も、この困難な時期に団結力が高まったと感じています。大学に寄り添っていただき、心から感謝申し上げます。

—金子副学長が再任
—8月3日の理事会で、専修大学副学長に金子洋之文学部教授が再任された。3期目任期は9月1日から3年間。ただし、専修大学長の任期と同じとする。

—金子副学長が再任
—8月3日の理事会で、専修大学副学長に金子洋之文学部教授が再任された。3期目任期は9月1日から3年間。ただし、専修大学長の任期と同じとする。

地域とともに

落語楽しむ

第2回黒門寄席が7月22日、神田キャンパスで行われた。本学卒業生で落語家の桂小文治さん(昭55商)が上方落語の地域貢献の一環として昨

が、2回目の今回は10号館の相馬永胤記念ホールで開催。本学関係者や地域住民ら50人が来場した。佐々木重人学長は「近隣のみなさん来ていただき、夢に見た姿が実現した。今後も地域に根差した大学を目指してさまざまなイベントを実施していく。次回以降もごひいきいただきたい」と話した。



熱演する桂小文治さん
多くの来場者が落語を楽しんだ



次回は10月30日(日)のホームカミングデー2022で実施予定。

ラオス簿記プロジェクト

社会知性開発研究センターは8月1日、研究拠点「複式簿記普及事業推進研究拠点」を設置した。今年3月まで実施されたラオスにおける簿記プロジェクトを継続して行

社会知性開発研究センター

複式簿記普及事業推進研究拠点を設置
—プロジェクトの正式名称は「ラオス国内における簿記教育の発展・普及——ラオ語による簿記テキストの開発と簿記検定試験の実施支援」。実施に至っていない。

—複式簿記普及事業推進研究拠点を設置
—プロジェクトの正式名称は「ラオス国内における簿記教育の発展・普及——ラオ語による簿記テキストの開発と簿記検定試験の実施支援」。実施に至っていない。